

日本語部

Japanese Language Ministry

2022年7月23日・24日

シリーズタイトル: ヤコブの物語

今週のタイトル: **ある場所から離れたとしても、神の恵みからは離れない**

創世記28:10-22

ブロディ・ローウェン牧師

この人生は紆余曲折に満ち溢れています。ある日、物事がうまくいっていたかと思うと、次の日には世界が崩壊してしまうこともあります。素晴らしい人間関係を持てる時もあれば、誤解や仲違いをすることもあります。囲まれて支えられていると感じる日もあれば、孤立して孤独だと感じる日もあります。

ヤコブは、すべてが一瞬で変わってしまうことを即座に理解しました。家族の対立を切り抜けるために、ジェイコブは家から逃げ出しました。しかし、その時、彼は神の家で一晩を過ごすことになるとは思っていませんでした。そして、神様は彼の人生を永遠に変えるてしまうようなものをお見せになったのです。

礼拝時間

午前 8 時 30 分、10 時、11 時 45 分

詳細は下記ページをご参照ください

<https://willingdon.online.church>

教会からのお知らせ

申込先はこちらより: http://eepurl.com/dC_JaL

今日、神様は私たちに何を見せようとしているのでしょうか？
どのように私たちの人生を永遠に変えてくださるのでしょうか？

- ヤコブは孤独を感じていましたが、神様は彼と共におられました。
- ヤコブは無防備な状態にあると感じていましたが、神様は与えてくださいました。
- ヤコブは走っていましたが、神様から走り去ることはできませんでした。
- 神様の恵み深い約束である「臨在」「保護」「備え」は、イエス・キリストの中に完全かつ最終的に見出されます。

考えてみましょう：

- 過去に、神様はあなたにご自身を現されたことがありますか？
どのようにですか？そのことは、今のあなたの人生にどのように影響していますか？
- あなたは神様のご臨在と備えを理解し経験しているでしょうか、それとも必要を感じているでしょうか？あなたに教えてくださるよう神様に祈り、あなたの願いを神様に差し出してください。
- イエス様を通しての神様の臨在、保護、備えは、あなたの人生における他の人との関係にどのような影響を与えていますか？

創世記28:10-22

10 ヤコブはベエル・シェバを立ててハランへ向かった。11 とある場所に来たとき、日が沈んだので、そこで一夜を過ごすことにした。ヤコブはその場所にあった石を一つ取って枕にして、その場所に横たわった。12 すると、彼は夢を見た。先端が天まで達する階段が地に向かって伸びており、しかも、神の御使いたちがそれを上ったり下ったりしていた。13 見よ、主が傍らに立って言われた。

「わたしは、あなたの父祖アブラハムの神、イサクの神、主である。あなたが今横たわっているこの土地を、あなたとあなたの子孫に与える。14 あなたの子孫は大地の砂粒のように多くなり、西へ、東へ、北へ、南へと広がっていくであろう。地上の氏族はすべて、あなたとあなたの子孫によって祝福に入る。15 見よ、わたしはあなたと共にいる。あなたがどこへ行っても、わたしはあなたを守り、必ずこの土地に連れ帰る。わたしは、あなたに約束したことを果たすまで決して見捨てない。」

16 ヤコブは眠りから覚めて言った。

「まことに主がこの場所におられるのに、わたしは知らなかった。」

17 そして、恐れおののいて言った。

「ここは、なんと畏れ多い場所だろう。これはまさしく神の家である。そうだ、ここは天の門だ。」

18 ヤコブは次の朝早く起きて、枕にしていた石を取り、それを記念碑として立て、先端に油を注いで、19 その場所をベテル（神の家）と名付けた。ちなみに、その町の名はかつてルズと呼ばれていた。

20 ヤコブはまた、誓願を立てて言った。

「神がわたしと共におられ、わたしが歩むこの旅路を守り、食べ物、着る物を与え、21 無事に父の家に帰らせてくださり、主がわたしの神となられるなら、22 わたしが記念碑として立てたこの石を神の家とし、すべて、あなたがわたしに与えられるものの十分の一をささげます。」